【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-226549(P2008-226549A)
【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-038
【出願番号】特願2007-60435(P2007-60435)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　37/02　　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/14　　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/74　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　37/02　　Ｆ
Ｇ０３Ｂ　21/14　　Ａ
Ｈ０４Ｎ　 5/74　　Ａ
Ｈ０５Ｂ　37/02　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月25日(2009.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
ここで、図１の情報処理システムは上述したようにデジタルシネマの分野に適用されている。かかるデジタルシネマの分野では、DCI（Digital Cinema Initiatives）と称される団体により、DCI Specと称される規格が規定されている。その規格によれば、参照されるべき映像パラメータとして、「白ピーク輝度はスクリーン中心で、48cd/m^2(14ft-L)であること」と明記されている。14ft-L = 48cd/m^2、とあるので、大体1m^2当たりろうそく48本分の明るさがスクリーン３４の中心で必要であるということになる。換言すると、スクリーン３４に投影される映像の輝度（照度）は、常に一定に保つ必要がある。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６８】
図７は、ランプシリアルコードの構造例を示している。図７に示されるように、ランプシリアルコードは、「Check sum/manufacturer code/max watt/min watt/life hour/lamp serial/check sum」という各テキスト情報が配列されて構成される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７１】
「manufacturer code」とは、ランプ情報の１つであって、対象ランプのランプ製造者（製造メーカ）を特定するためのコード、いわゆるメーカIDである。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９９】
ログ設定とは、ステップＳ３の処理で入力されたランプシリアルコードの内容を、今回ランプ５８として交換された対象ランプについてのログ履歴情報に含めてメモリ５２に格納することをいう。具体的には、「manufacturer code」、「max watt」、「min watt」、「life hour」、および「lamp serial」の内容がログ履歴情報に含まれる。なお、以下、「life hour」の内容を、公称寿命時間T(life)と称する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０６】
即ち、本実施の形態では、ランプタイマTが自動的にリセットされたとき、ステップＳ３１において、処理の終了が指示されたと判定されて、交換前のランプ５８についてのランプタイマ運用処理は終了となる。そして、図5のステップＳ１２が実行されることで、交換後のランプ５８についてのランプタイマ運用処理が新たに開始される。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４０】
ここで、ランプ情報とは、ランプシリアルコードに含まれる情報のうちの、「Check sum」/「check sum」を除く情報、例えば上述した図７の構造のランプシリアルコードが採用されている場合には、図１２のステップＳ５１のボックス中に記載されているように、「manufacturer code」，「max watt」，「min watt」，「life hour」，「lamp serial」を指す。この場合の各ランプ情報は、必ずしも同一手法で入力される必要は無く、必ずしも同一タイミングで入力される必要も無く、また、その入力順番も特に限定されない。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４２】
ステップＳ５２において、装置は、ランプ情報の並べ替えを行う。この並べ替えは、ランプシリアルコードの構造に従う。従って、上述した図７の構造のランプシリアルコードが採用されている場合には、「manufacturer code」，「max watt」，「min watt」，「life hour」，「lamp serial」の順に並び替えられることになる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４４】
ステップＳ５４において、装置は、ランプシリアルコードを生成する。即ち、ステップ

Ｓ５２の処理で並び替えられた各ランプ情報に対して、ステップＳ５３の処理で計算されたチェックサムが付加されることで、ランプシリアルコードが生成される。例えば、図７の構造のランプシリアルコードが採用されている場合には、「Check sum/manufacturer code/max watt/min watt/life hour/lamp serial/check sum」という各テキスト情報が配列されて構成される情報が、ランプシリアルコードとして生成されることになる。